


〈解答〉

- ① 1 (1) フォッサマグナ (2) ウ
2 (1) ①：季節風 ②：対馬海流
(2) イ
(3) 〔例〕鉄道やバスの交通網が発達しているから。
(4) A：ウ C：エ

配点 ① 1(1), 2(3)は各2点, 他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 (1) フォッサマグナはラテン語で「大きな溝」という意味で、地盤の割れ目がずれ動いた状態である断層が集まっている。このフォッサマグナを境にして、本州の東と西では地形や岩石の特徴が大きく異なっている。
- (2) 太平洋側の広い低地が関東平野で、日本海側に越後山脈が連なっている。ア日本海側に石狩平野が広がり、太平洋側に日高山脈、十勝平野がある。イ日本海側に出羽山地、中央に奥羽山脈、太平洋側に北上高地がある。エ日本海側に丹波高地、中央に奈良盆地、太平洋側に紀伊山地がある。
- 2 (1) 日本海側の気候は、冬に雪が多いという特色がある。これは、大陸からふいてくる北西の季節風が、日本海を渡るときに水分を含んで雲をつくり、日本の山地にぶつかって雪を降らせるため、夏には南東の季節風の風下となるため乾燥する。
- (2) 扇状地はゆるやかな傾斜地となっており、粒の大きい砂や石からできているため、水はけがよく、田には適さない。3図の  で示した山梨県の甲府盆地では、ぶどうやももが盛んに栽培されている。
- (3) 大都市圏は、鉄道などの公共交通機関が発達しているので、乗用車の保有台数が全国平均を下回っている。
- (4) 第3次産業（商業や観光業などのサービス産業）人口の割合から、Bの東京都、Cの京都府をイ、エと考える。昼夜間人口比率が高いBの東京都は、他県からの通勤者や通学者が多いイ。このことから、Cの京都府はエとなる。Aの群馬県、Dの和歌山県は、第1次産業（農業、林業、水産業など）人口の割合が高いアがDの和歌山県で、Aの群馬県はウとなる。